



D.I. 質問箱



アレルギー担当
の志谷したにがお答え
いたします。

Q38

ハチのアレルギー検査について教えてください。



A38

「ご質問ありがとうございます。」

7月から9月は、ハチによる刺傷事故が多い季節です。（日本では年間20人～30人が亡くなっています。）よくヒトを刺すのは、①アシナガバチ ②スズメバチ ③ミツバチの順といわれています。

一度ハチに刺されると、ハチ毒に対する抗体が体内で作られます。そして再びハチに刺されると、「抗原抗体反応」により、初めて刺された時よりも局所的な腫れや痛みなどの症状がひどくなったり、場合によってはアナフィラキシーショックを起こしたりすることもあり注意が必要です。

過去にハチに刺された経験があれば、一度ハチアレルギー（特異的IgE抗体）の検査をお勧めいたします。（アシナガバチ、スズメバチ、ミツバチの3種が検査可能です。）

◆ハチ刺し事故を避けるワンポイント◆

ハチは黒いものに向かって攻撃する習性があり、顔面や頭部が特に狙われやすいそうです。なるべく白っぽい服装を選び、あまり肌を露出させないようにするのがよさそうです。

お問合せ：学術デ・タインフォーメーション（D.I.）まで
0120-14-8734（フリーダイヤル）/ 082-247-4325（ダイヤルイン）

きやつうボール

本間昭先生が医療監修をなさった「明日の記憶」を観ました。本間先生は、日常生活における認知症の症状の現れや進行具合が実際とかけ離れたものにならないように注意されたそうです。そこには、ただ絶望や深い悲しみがあるだけではなく、確かに“生”が描かれていました。

その“生”を受け入れるためには、認知症について正しく理解することが最も重要なことなんだと、本間先生の取材を通じて強く感じました。自分が、あるいは身近な人が認知症になったとしても、正しい理解と心の支えさえあれば、決して恐れることはない、そんな気になりました。

初岡 博（広報委員）

広報委員

松本 道雄 / 藤本 誠 / 伊丸 直樹 / 中村 賢作 / 渡川 美弥子 / 初岡 博

